

助産学実習Ⅰ

5 単位 (必修) 1 年 (通年)

葉久 真理・教授/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 石走 知子・講師/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 竹林 桂子・助教/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

【授業概要】妊娠期の診断とケア並びに親教育について、継続ケアを中心に実習展開する。妊娠期の診断とケアは、助産師外来において、最低 30 例の妊婦の健康診査及び診査に基づくケアを実践する。受け持ち事例は、妊娠期から分娩・産褥新生児期までの継続した期間の対象者 5 名を受け持ち、助産学実習 2 の分娩、産褥新生児期の診断とケアに継続する。親教育は、両親学級、家庭訪問、クッキング、電話相談・訪問を通して、教育の方法と技術を修得する。また、地域における母児とその家族への支援は、本助産学のモデル地区において、子育て支援を中心に親教育を展開する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216942>